

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ取り組み 経済活動を維持しながら安全な職場づくりを



去る4月7日、安倍首相が緊急事態を宣言し、東京都をはじめとする一部地域では外出やイベント自粛が要請されました。その範囲は医療機関や生活に密着した業務以外の経済活動にも及んでいます。

弊社では、感染拡大を予防する対策を実行しつつ、業務を続ける取り組みを行っていますので、そのいくつかをご紹介します。

【マスク着用義務 手洗い励行】

自宅勤務ができない職種の社員も多くいます。まずマスク着用を義務化しました。会社に入社の際は手のアルコール消毒をすること、そして業務の区切りで石鹸を使った手洗いを奨励しています。手洗い後は共有のタオルではなく、各自持参したハンカチなどを使います。

【食事のとり方を変えました】

社内の食堂で食事をする場合は、席の間隔を広くとって食事をするか、自席で食事をするケースも取り入れ、密集状態を解消しました。

【体調不良を見逃さない】

1. 従業員が発熱した場合は自宅待機。2、3日で熱が下がった場合は協議した上で出勤。4日以上熱が続く場合は病院へ行き検査する。
2. 従業員がコロナウイルスの濃厚接触者になった場合は自宅待機で経過観察。

今のところ、体調不良の段階で他社員との接触をさせない対策をとっています。実際に罹患した場合、産業界と保健所の指示に従い対処を協議します。

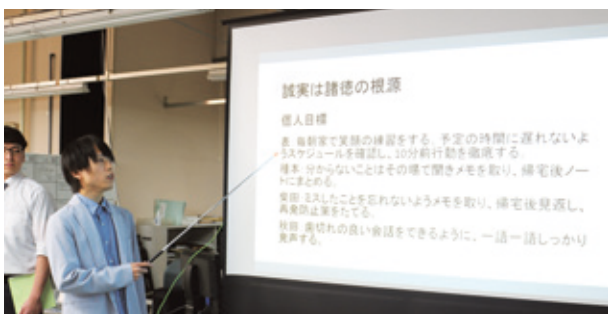
一人ひとりの意識を高めて、コロナ禍が終息方向に進むよう、企業の責任として取り組んでいきます。

テレワーク勤務を拡張～東京支店の取り組み

北海道で緊急事態宣言が出された2月28日から、東京支店の営業社員は「基本的にテレワーク」で業務を行なうよう、勤務体系を変更しました。4月7日からはやむを得ない場合を除くすべての業務をテレワークとし、8割の接触削減を実現するべく取り組んでいます。

東京支店ではPCを用いてのテレワーク運用を開始。100%外出なしで業務を完結することはできませんが、ウイルス感染防止以外にも、通勤等の時間削減や、場所を選ばず仕事ができるといった面で作業効率が向上するという効果も生まれています。感染リスクにさらされる行動を少しでも減らし、安心して働けるのがメリットです。さらにより働きやすい環境を作ることで、離職者を減らし、意欲のある人材を確保し、また業務効率化を進めたいという企業の課題解決にもつながるのではないのでしょうか。

2020年度 新入社員を紹介します



新入社員研修の成果発表「社訓の理解と実践」
 今年からパワーポイントを使っています（これまでは模造紙でした）

今年4名の若手スタッフが仲間入りしました。

3月21日の入社式を経て研修の日々を送り、現在所属部署でがんばっています。入社してすぐに研修がはじまり、「挨拶訓練」、各部署の「実地研修」、「社訓と理解の実践」の座学と目白押しの日々。一人前の社会人を目指し猛特訓中です。

編集後記

驚異の感染力で全世界へ広がりを見せる新型コロナウイルスに関するニュースを見ては、一体いつ終息するのだろうかと考える毎日。新卒で入社をした全国の新入社員の多くは、卒業中止という中で入社。目に見えないウイルスとの闘いは、先が見通せず辛いですが、必ず克服できる日が来るはず。この難局を全国民で乗り越えるしかありません。(T)



表 理祐沙 (東京・営業部)

パワーリフティングが特技。一日でも早く家族に恩返しができるように日々成長したいです。



種本 友輔 (営業推進室)

特技はDTM、釣り、服作り。様々なメディアのデザインが出来る人になりたいです。



柴田 結花 (印刷課)

趣味はテニス。好きな言葉は「なぜか成る」。一度引き受けた仕事は責任を持ってやりきれたい人になりたいです。



秋田 滉平 (印刷課)

特技は絵を描くこと。休日の楽しみは車で遠出すること。早く仕事をマスターし、即戦力になりたいです。